

# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」カリキュラム

プログラム分類		講義名	講義概要	講義形式	担当講師
		オリエンテーション	デジタルヘルス人材育成プログラムの目的、講義全体の概要説明を行う。	録画配信 12月1日開講 LIVE配信終了	岡山大学 志水 武史
1 ヘルスケア 関連分野の 教育プログラム	制度・市場 概論	公的医療・介護保険制度の概要	本講義は、医療保険制度と介護保険制度についての概要を講義する。現在、日本の国民医療費は約45兆円、介護給付費は約10兆円となっており、将来に向けて持続可能な制度運営のあり方が問われている。本講義では、主に医療保険制度に焦点を当て、医療保険制度の構造的な特徴、医療におけるお金の流れを明確にし、医療保険制度を「立体的」に捉えることを目標にする。そのもとで、日本の医療保険制度の課題を明確にし、デジタル人材が医療・介護に貢献すべき方向性について展望を検討していく。	LIVE配信 2月3日(土) 13 00 00	広島国際大学 林 行成
		医療・介護関連産業の概要	高齢化が進み疾患を抱える人が増加しているなか、医療・介護へのニーズはますます増大している。これに応える医療・介護関連産業の成長は社会的な意義も大きい。当該産業には、医療機関や介護事業者や、医薬品や医療機器、福祉機器を製造する事業者や卸業者がある。また、公的保険外サービスを提供する健康増進や介護予防に関連するサービス、さらには美容や旅行等、関連産業のすそ野は幅広い。このような医療・介護関連産業に“デジタル”が貢献できる場面には様々なものがあると想定される。本講義では、デジタルヘルス関連ビジネス参入の基礎知識として、医療・介護関連産業の全体像をお示しする。	録画配信	(株)NTTデータ 経営研究所 米澤 麻子
		国・自治体・企業における健康関連施策の概要	国や自治体では、少子高齢化、生産年齢人口の減少を踏まえ、住民の健康増進や疾病予防が主要な政策課題となっている。企業では、従業員の健康増進を経営的視点から実現する健康経営が注目を浴びている。他方、医療費や介護給付費の増加を背景に、保険者にも疾病予防や介護予防への機能発揮が求められている。以上を背景に、国や自治体、企業、保険者は、様々な健康関連施策を展開している。“デジタル”が活躍する健康関連サービスのビジネスモデルを検討する上で、健康関連施策への理解は不可欠である。本講義では、国・自治体・企業における健康関連施策の内容や事業構造について概説する。	録画配信	(株)NTTデータ 経営研究所 米澤 麻子

# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」カリキュラム

プログラム分類	講義名	講義概要	講義形式	担当講師
1 ヘルスケア関連分野の教育プログラム	医療・介護関連 国家資格人材の概要	医療・介護分野の国家資格の概要、有資格者の可能業務について概説する。	録画配信	(株)マイナビ 土井 桃子
	医療機関・介護施設経営の 概要	急速な少子高齢化の進展と医療の高度化により、わが国の医療費は年々増大し、医療保険財政を圧迫している。また、新型コロナウイルスによる感染拡大は大きな社会変化を引き起こし、患者の医療に対する意識を変化させた。医療機関は存在理由が問われ、どのように生き残っていくかという大きな岐路に立たされている。医療の質の向上、患者サービスの充実、経営の効率化など、病院が急務とする課題は多岐にわたり、病院の最高管理者である院長の意思決定は今まで以上に重要なものとなり、病院の将来を左右すると言っても過言ではない。本講義では病院のトップ・マネージャーに焦点を当て、リーダーの成長の視点で医療機関の経営について概説する。	録画配信	岡山大学 渡邊 豊彦
	ヘルスケア分野における法規制の概要	医療・ヘルスケア業界は人命や倫理に関わる業界であり、他業界と比べて遵守すべき法規制が圧倒的に多い。人命倫理に繋がるので常に細心の注意が必要である。また、個人情報の保護の観点と公共利益は時制により比重が変わってくる側面もある。 ビジネスを進めていくには時制と法規制と公共利益のバランスを考えて適応していく必要があり、デジタルヘルス領域のビジネスを展開される皆様に、この業界における法規制とビジネスの関わり方について理解を深めて今後に役立てていただきたい。	録画配信	(株)Yuimedi 中村 友里恵
	デジタルヘルス産業・市場の 概要	今後追記予定	録画配信	日本医療 ベンチャー協会 加藤 浩晃
臨床概論	消化器内科概論 (消化器内科における人工 知能研究と臨床応用)	近年、消化器内科領域におけるコンピュータによる補助診断（CAD）の応用は、畳み込みニューラルネットワーク(CNN)の発展に伴い急速に進歩している。特に消化器内視鏡領域においてその進歩は著明であり、大腸腫瘍の鑑別診断、拾い上げに関してはすでに実用化され医療現場で使用されている。本講義では現在臨床応用されている消化器内科領域における人工知能（AI）の紹介、我々が取り組んでいるAI研究について概説する。	LIVE配信 2月19日(月) 17:30-18:30	岡山大学 河原 祥朗

# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」カリキュラム

プログラム分類	講義名	講義概要	講義形式	担当講師	
1.ヘルスケア関連分野の教育プログラム	臨床概論（臓器別疾患 治療）	消化器外科概論	多様化する大腸がん治療の中で、外科治療の最前線として低侵襲手術（腹腔鏡ならびにロボット支援手術）を中心に講義を行います。プログラムがデジタルヘルス人材育成ということで、大腸外科領域に浸透しつつあるDigital Transformationの話題についても触れる予定です。安心・安全な外科手術のためにデジタル技術を駆使してできることを想像できる講義内容になればよいと考えています。	LIVE配信 1月17日（水） 18:30-19:30	岡山大学 寺石 文則
		呼吸器内科概論	医学の進歩は年々その歩みの速度を増しており、各分野の知識は膨大なものになりつつあります。呼吸器の分野のみに限ってもそのすべてを一人の医師がカバーするのはすでに困難なほどの状況であり、デジタル化の力を借りてこのような膨大な医学知識をどのように扱い診療に活かすのか、今後求められる医師像も変化してくと予想されます。本講義では、呼吸器疾患においてデジタル化によって期待されること、解決が難しいことなどを事例を挙げて紹介できればと思っております。	録画配信	岡山大学 市原 英基
		呼吸器外科概論	肺がんに対する肺切除術、慢性呼吸器疾患に対する肺移植手術を中心とした呼吸器外科手術に関して解説いたします。内容としては手術の適応となる疾患と、手術の実際についてです。後者は手術動画を供覧しながら説明いたします。また医療技術の進歩に伴い普及してきているロボット支援手術についてもお示しいたします。外科医として手術を安全に低侵襲に確実に行うための工夫や手術の奥深さ、魅力を少しでもお伝えできれば幸いです。	録画配信	岡山大学 田中 真
		腎臓内科概論	我が国の慢性腎臓病の患者数は約1,300万人と多く、糖尿病性腎臓病、腎硬化症、慢性糸球体腎炎、多発性嚢胞腎など原因疾患は多彩である。腎機能が低下し末期腎不全に至れば、透析治療あるいは腎移植による腎代替治療が必要となり、患者のQOLは大きく損なわれ、また高額な医療費により医療財政を圧迫する一因にもなっている。透析の回避や腎予後の改善のためには慢性腎臓病の早期受診・早期治療による重症化予防が重要である。今回の講義では、各腎臓病およびその治療法の概要について解説する。	録画配信	岡山大学 辻 憲二

# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」カリキュラム

プログラム分類	講義名	講義概要	講義形式	担当講師	
1.ヘルスケア関連分野の教育プログラム	臨床概論（臓器別疾患治療）	泌尿器科概論	泌尿器科と聞くとどのようなイメージをお持ちでしょうか。泌尿器は尿路（腎、尿管、膀胱、尿道）および男子性器（精巣、前立腺、陰茎）を扱う診療科であり、ロボット手術などの内視鏡手術を行っているほか、多岐に渡る疾患を診察しています。講義では尿路・精路の解剖を紹介し、各論として' 排尿障害(頻尿、前立腺肥大)' 尿路・性器感染症、尿管結石 悪性腫瘍(手術・化学療法) 性機能・ジェンダー 腎移植といった当科で取り扱う疾患の病態や治療を概説するとともに、当科で行っている研究に関して、AIを用いた研究を絡めて紹介します。	録画配信	岡山大学 丸山 雄樹
		循環器内科概論	現在、心疾患は日本人の死因の2位である。そして、超高齢社会になったことから心血管疾患の増加に拍車がかかっている。中でも増加が著しいのが心不全、動脈硬化そして心房細動である。これら心血管疾患は誰でもなりうるcommon diseaseであり、生活習慣病の側面も持っている。本講義ではこれら心血管病をわかりやすく説明するとともに、遠隔モニター、AI診療の可能性も開設する予定である。	録画配信	岡山大学 中村 一文
		心臓血管外科概論 (循環器領域におけるDX 携帯心電計を用いた遠隔医療システム)	医学のデジタルフォーメーションとして、循環器系における活用、変革について話をします。近年の通信技術の進歩は無限の可能性を秘めておりますが、医療の現場に十分に反映されていないのが実情であります。我々は既存のインターネット回線（携帯電話回線を含む）を用い、超小型、インターネット対応の携帯心電計と介護老人への対応も加味した敷きシート型モニターを使用して僻地、離島、災害地や在宅寝たきり高齢者の医療現場から、主治医や専門医に遠隔医療システムの実際を確立する事を目指してきました。現在では、このモニタリングシステムが応用され、マラソン事故の予防、さらには農業就労者の生体モニタリングとして活用の場を広げております。	録画配信	岡山大学 笠原 真悟
		脳神経内科概論	脳神経内科医は脳・脊髄や末梢神経が器質的あるいは機能的に障害される疾患の患者の診療にあたっています。具体的には、アルツハイマー型認知症、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、多系統萎縮症、脳梗塞、多発性硬化症、ギランバレー症候群、てんかん、頭痛など非常に多様な疾患に対応しています。近年、アルツハイマー型認知症の抗体療法の出現にも関連した形で、認知症の早期診断の必要性が高まっており、デジタルデバイスを用いた様々な新規診断法などが次々に開発されてきています。	録画配信	岡山大学 山下 徹

# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」カリキュラム

プログラム分類	講義名	講義概要	講義形式	担当講師
1.ヘルスケア関連分野の教育プログラム	臨床概論（臓器別疾患 治療）			
	脳神経外科概論	<p>脳神経外科の手術は、安全・確実に加えて低侵襲性が求められるようになりつつある。ITを応用したイノベーションが多く導入され、手術そのものも洗練化されてきた。脳神経外科医はこれらのイノベーションを用いて手術を行うが、手術機器の開発や工夫についてアイデアを出せるものの、実際の作製にあたっては医工連携が必要である。</p> <p>この講義では、現在行われている脳神経外科手術のうち、ITを駆使したイノベーションが応用されているものについて動画も交えて解説する。</p> <p>さらに、このような改良が行われれば、より安全性・正確性が増すと私たちが考えているポイントについてもお示ししたい。</p> <p>今後の手術機器の開発・作製などにわずかでも参考になれば幸いである。</p>	録画配信	岡山大学 安原 隆雄
	精神科概論 ～デジタル化、AIでの応用～	<p>精神疾患は本邦でも最多の患者数であり、世界の慢性疾患のDALYsでも、がん、心血管障害などを大きく上回る重要な課題となっている。一方、バイオマーカーがほとんど存在せず症候学が主体であること、脳（理系的）と心（文系的）概念が混在していることなどから、AI活用が最も難しい分野かもしれない。精神疾患の総論、各論の概説、現在進成型でAIが活用されている事業を紹介し、本講義が皆様の将来の活躍のヒントとなることを期待する。</p>	録画配信	岡山大学 高木 学
	総合内科概論 (Virtual Realityを応用した感染対策の提案)	<p>新型コロナウイルス感染症のパンデミックによって医療現場における感染対策の重要性が明らかになった。さらに薬剤耐性菌の潜在的な出現・拡散にも注目しなければならない。本講演では、私たちを取り巻く薬剤耐性菌の現状について紹介するとともに、感染対策のコアとなる手指衛生の重要性、さらにはVR (Virtual Reality)を用いた手指衛生行動の改善に関する取り組みを紹介する。なお、講義内容の一部は収録時点における状況に基づく</p>	録画配信	岡山大学 萩谷 英大
小児科概論	<p>まず、日本における子ども関連の公衆衛生と疫学を説明します。次に、子どもの特性に着目しながら、小児医療と小児保健の概要を説明します。とりわけ、子どもの感染症の特徴とそれへの対応（ワクチンの重要性）、当院「小児医療センター」で実施されている最適な高度先進医療を紹介いたします。最後に、子ども関連の研究の多様性と面白さについて説明します。</p>	録画配信	岡山大学 塚原 宏一	

# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」カリキュラム

プログラム分類	講義名	講義概要	講義形式	担当講師	
1.ヘルスケア関連分野の教育プログラム	臨床概論（臓器別疾患 治療）	小児神経科概論 （小児てんかんを中心として）	小児神経科は小児期の脳神経疾患の内科的診療を専門としていますが、成人期の脳神経内科とは年齢層が異なることを反映して全く違う病態の疾患を扱っています。講義では小児神経科で診療するこれらの疾患を説明し、特にその中心である小児てんかんとその診断に欠かせない脳波について概説します。脳波は脳の神経細胞の活動に伴い発生する微弱な電気信号を増幅し記録したものであり、生理的波形からてんかん発射などの病的波形まで多彩な成分を含みます。最後に現在手がけている脳波の人工知能(AI)による判定の技術開発の試みについて紹介します。	録画配信	岡山大学 小林 勝弘
		放射線科概論	放射線医学は臨床では大きく画像診断・放射線治療・IVR (Interventional Radiology; 放射線カテーテル治療)の三部門に分かれる。画像診断ではレントゲン、CT、MRI、核医学等の画像についてレポートを記載し、その診断に寄与する。放射線治療は良悪の疾患に対し放射線を照射することで、治療や症状緩和を目指す。IVRでは超音波、CT等の画像補助下に癌の組織採取、アブレーション治療や血管内カテーテル手技など、従来の手術手技より低侵襲な検査や治療を行う。これら三つの部門につき、近年のトピックに触れながら概説する。	録画配信	岡山大学 北山 貴裕
		産婦人科概論	産婦人科の特徴として、少子高齢化や晩婚化などの社会の変化を感じやすい点が挙げられます。最近の出生数の変化や、出産年齢の高齢化に伴い、どのような変化が起きているのか、また今後起こりうるのかについて考えていきたいと思います。また、一部の婦人科がんでは親から子へ遺伝が関係する遺伝性腫瘍があり、最近になって保険制度が変更されより身近なものになっています。これらについても、現在の問題点も踏まえてお話ししていきます。	録画配信	岡山大学 松岡 敬典
		整形外科概論 （AI研究の歴史と整形外科領域のAI研究）	医療AI研究は、言語AIの出現によって大きな変化が進んでいる。従来の医療AI研究では、大量の医療画像に人力でラベルを付与するラベリングという手作業が必要でしたが、ChatGPTのような言語AIの登場により、プロンプトエンジニアリングという手法が利用可能になりました。プロンプトエンジニアリングは、画像AIや言語AIに対して、ラベリングなしでタスクを定義する手法であり、効率的なAI開発が可能です。画像AIにもプロンプトエンジニアリングが適用され、医療画像AI研究を大きく変えつつあります。本講演では、画像AIと言語AIの歴史を振り返りながら、医療AIの現状について概説する。	LIVE配信 2月7日（水） 18:00-19:00	岡山大学 中原 龍一

# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」カリキュラム

プログラム分類	講義名	講義概要	講義形式	担当講師
1.ヘルスケア関連分野の教育プログラム	臨床概論（臓器別疾患）			
	治療			
	形成外科概論	形成外科という診療科自体は比較的新しいが、その手技としては紀元前2, 3世紀に遡る。古代インドでは鼻削ぎの刑が行われており、削ぎ落とされた鼻の欠損部に頬部の皮膚を皮弁（血流が維持された皮膚）として移植する造鼻術がなされていた。その後、植皮術や各種皮弁、顕微鏡下に組織移植をおこなうマイクロサージャリーなど様々な形成外科手技が開発され今日に至っている。本講義では形成外科の概略と基本的な手技、子宮移植や顔面移植などの最先端の形成外科移植医療について解説する。	LIVE配信 1月13日（土） 10:00-11:00	岡山大学 松本 洋
	眼科概論 (前眼部や眼底画像が面白い)	視覚を司る眼球は角膜、水晶体、硝子体の透明組織から成るため、眼底と呼ばれる網膜を直接観察できます。魚眼レンズを使った広角度の網膜写真、赤外光による光干渉像として網膜断面の層構造を描出する画像が日常診療で使われています。健康診断でも無散瞳眼底カメラによる眼底写真が糖尿病網膜症や緑内障の診断に役立っています。機器の性能向上によって撮影する医療者負担も少なく、まぶしさもないため撮影される患者負担も少なくなっています。日本企業トプコンの無散瞳眼底カメラによる糖尿病網膜症の自動診断ソフトが米国で製造販売承認され、内科医が使っています。スマホなど携帯カメラで撮った自身の眼の写真を診察で見せてくださる患者様方もいます。線状光を斜照射して前眼部写真を撮るスリット照明をスマホにつけた機器も販売されています。	録画配信	岡山大学 松尾 俊彦
耳鼻咽喉科概論 (医療を支えるソーシャル・イノベーション)	いうまでもなく医療には限界がある。筆者はこれまでに聴覚障害者が抱える社会的課題に関して、当事者のニーズと岡山県でのデータをもとに福祉制度の改変や助成制度の全国展開を行ってきた。現在は、聴覚障害者の災害時、緊急時の音声情報の入手困難に伴う避難の遅滞や安全性確保の問題に対し、緊急通知音を振動に変換するウェアラブルデバイスの開発を行っている。製品化を目指す上で、プロダクトデザインには社会的価値、当事者価値、収益性のバランスが必要である。医療における課題を改善する上で、他分野で取り組むことでより視野を広く持ち、社会に受け入れやすい形への発展が期待できる。本講義では耳鼻咽喉科としての取り組みと、医療における産官学連携の意義に関して説明する。	録画配信	岡山大学 片岡 祐子	
皮膚科概論	皮膚は人体の最外層に位置する臓器であり、水分の喪失や透過を防ぐ、体温を調節する、微生物や物理化学的な刺激から生体を守る、感覚器としての役割を果たすなど、様々な生理学的機能を有している。皮膚科では感染症、炎症性疾患、腫瘍、遺伝性疾患、アレルギー性疾患、膠原病、薬疹など皮膚に症状のあらわれるすべての疾患を診療対象とする。そのため、皮膚科医は内科的な視点、外科的な視点、そして皮膚病理医としての視点も併せ持ちながら、診療を行っている。	録画配信	岡山大学 川上 佳夫	

# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」カリキュラム

プログラム分類	講義名	講義概要	講義形式	担当講師
1.ヘルスケア関連分野の教育プログラム	臨床概論（臓器別疾患 治療）			
	臨床遺伝学概論	近年のゲノム医学の急速な発展はヒトの多様性や病気の原因となる遺伝子を明らかにしてきました。これらの成果は遺伝子関連検査、疾患予防、個別化治療にも役立っています。わが国は令和7年度より全ゲノム解析を診療に導入することを決定しました。今後は国民が未病の段階から遺伝情報を活用する時代が来ます。遺伝情報は医療者、当事者、血縁者で共有することで最大限の意義を発揮します。本領域は難病・希少疾患、がん、周産期など幅広い疾患のみならず、未発症のヒトも対象となり、倫理的・法的・社会的課題(ELSI)も重要です。本講義では医療Dx化の導入のメリットが大きい臨床遺伝学分野の現状と課題についてお話しします。	録画配信	岡山大学 平沢 晃
	救急医学概論	災害医療や救急医療は、軍陣医療に起源をもつ。他の医学領域と違って、時間制約、使用できる医療資源の制限、空間的制約がある状況で医療活動を行わなければならない。しかし、「制約」の存在は、その改善という需要へとアイデアがつながる。また、産業の一角として、デジタルヘルスを捉えるために、経済学的・商学的思考も加味した講義内容としたい。自由な発想で、災害医療や救急医療のIT化をデザインできるようになることを目標とする。	LIVE配信 1月27日(土) 11:00-12:00	大阪行岡医 療大学 中尾 博之
	麻酔・蘇生学概論 (急性期・重症系での デジタルイノベーション)	麻酔集中治療領域はデータリッチな分野である。我々は日常の診療においても、手術室や集中治療室で働いている。患者連続的なモニタリングを受けており、常に数値によって評価を受けている。我々医師は場面場面で表示されている数値を見て患者評価を行うが、本来連続データはトレンドや変動を見て評価されるべきである。もちろん現在でもある程度のグラフ化やTable表示は可能であるが、この領域ではまだまだ連続データの有効性が生かし切れていないと考える。近年、我々もAIを用いた予測モデルの作成などの研究も行っており、最近のトレンドと、自験を含めて重症系のデジタルヘルス活用を紹介していきたい。	LIVE配信 1月29日(月) 19:00-20:00	岡山大学 森松 博史
臨床歯学概論	本講義では、歯科でのデジタルトランスフォーメーション(DX)に対する取り組みについてご紹介していきます。歯科は歯、骨などの硬組織を対象にした治療のウエイトが多い分野です。これらの3次元データは、これからの診療に新しい可能性を広げます。光学印象などで得られたデータからCAD/CAMにより口腔内の装置を作成することはすでに進められていることですが、診断、治療計画、新しい装置の開発など多岐に亘ってその応用が始まっています。また、大学独自の教育にもこれらDX化を応用した講義、実習も行われており、それらの内容もお話しします。	LIVE配信 2月2日(金) 19:00-20:00	岡山大学 上岡 寛	



# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」カリキュラム

プログラム分類		講義名	講義概要	講義形式	担当講師
2. 二関連分野の教育プログラム	二技術基礎	臨床薬学概論	本講義では、データサイエンスを活用した創薬や治験、ゲノム医療等の社会実装例に基づきながら、医療分野におけるデータサイエンスの役割と意義について解説します。また、医療AI/IoTを活用した領域における医療現場の課題解決事例および最新の研究内容についても説明します。それらの背景を元に、私達が展開している大規模医療情報データベースを基盤とするデータサイエンスを活用した創薬・育薬研究や薬剤師業務のDX化について紹介します。	LIVE配信 3月11日(月) 19 00 00	岡山大学 座間味 義人
		IT技術と関連産業の概要	IT技術とは何か、どのように開発・普及・発展してきたのか、またIT関連産業はいかに成長・形成されてきたのか。本講義ではIT技術と関連産業について科学技術史の視点から概説する。	録画配信	岡山大学 吉葉 恭行
		医用画像情報処理	本講義では、画像情報処理技術(画像諸理, 人工知能(AI), 仮想・複合現実など)を使って治療・診断を支援するシステムに関して講義する。具体的には、まず、体内部の情報を計測・画像化する代表的な装置である、コンピュータ断層撮影(Computed Tomography: CT)や磁気共鳴画像計測(Magnetic Resonance Imaging: MRI)の計測原理を述べる。 また、CTやMRIから得られる画像を使って、人体組織の3次元形状を復元する技術を説明する。そして、その形状情報やAIを組み合わせた医療支援を、講師の研究グループの研究成果を示しながら紹介する。	録画配信	熊本大学 諸岡 健一
		ヒューマンインタフェース基礎	ユーザが装置を使う場合に、ユーザと装置の間に介在するヒューマンインタフェース(HI)の基礎を講述する。まず、HIの例を挙げながら、HIの重要な2つの役割である1) 利用者の意図の装置への伝達と、2) 装置の状態の利用者への表示を説明する。 そして、人間の身体的および認知的特性に整合した「人に優しい」HIとするために必要な知識として、人間の特性、HIの設計と実装における考え方、基本概念や、アプローチを概説する。	録画配信	岡山県立大学 五福 明夫
		センシング工学の基礎	我々の身の回りの物理現象を電気信号に変換するセンサは、IoTで用いられるデータを取得する際に必須のデバイスであり、近年様々な高機能なセンサが開発されています。本講義では、一般的に使用されている各種センサとそのしくみの概説、センサを用いた高度なセンシング例の紹介、センサを用いて取得した電気信号のデジタル信号への変換など、IoTで活用されているセンシング技術を理解する上で必要な基礎的な内容を説明します。	録画配信	同志社大学 堺 健司

# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」カリキュラム

プログラム分類	講義名	講義概要	講義形式	担当講師	
2. 二関連分野の教育プログラム	IoT・AI活用	IoT機器構築例	<p>様々なものがインターネットに繋がるIoT（Internet of Things）という言葉が社会で一般に使われるようになっていますが、具体的に自分でIoT機器を作るとうとする場合にどのようなものになるのかをイメージすることができれば、関連する技術や問題に取り組みやすくなることが期待されます。本講義では、IoT機器の構築例としてレスキューロボット（移動する監視カメラ）を紹介し、具体的にはRaspberry PiのセットアップとしてOSをインストールするところから、動画配信ソフトのインストール、さらにCAN通信やROS環境の構築まで紹介いたします。</p>	録画配信	岡山大学 亀川 哲志
		ヘルスケアVR	<p>我々は大阪大学における産学連携活動を通して仮想現実（VR）技術を応用したりハビリテーション用医療機器「mediVRカグラ」を開発し2019年3月より一般販売を開始した。本機器は座位トレーニングで安全に治療が出来る一方で、運動失調、歩行機能、上肢機能、認知機能、及び慢性疼痛に対して介入可能であることが報告されておりその独自性のある高い治療効果に期待が集まっている。本講演ではIT技術の医療応用の実例を通して、医工連携におけるニーズの掘り起こしから開発、特許戦略、上市から臨床での普及に至る過程を概説することで、聴講者が医療機器開発の事業化の流れを理解する一助としたい。</p>	録画配信	(株)mediVR 原 正彦
		ヘルスケア分野におけるAI活用	<p>ヘルスケア領域において、健康推進、QOL向上の情報の取り扱いが重要である。日常生活や健康情報、バイオマーカーなどの情報は、「いつ」「どのような」健康行動を行うか、という起点になる。</p> <p>スマホやウェアラブルデバイスの普及、健康情報のデジタル化によって、データの量・種類が拡大する中で、情報を処理し、予測し、推薦するAIの機能は、今後のヘルスケア領域でも注目すべき領域である。</p> <p>さらに、対話型AIの進化によって、その可能性は格段に広がっている。本講義では、AIの基礎的な理解からはじめ、ヘルスケア領域でのAI応用のポイントや注意点を示しながら、AI応用の可能性・有効性を示す。</p>	録画配信	東京大学 小塩 篤史

# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」カリキュラム

プログラム分類	講義名	講義概要	講義形式	担当講師	
2. IT関連分野の教育プログラム	IOT・AI活用	ヘルスケアデータ利活用 アプリ・機器等の開発・提供における留意点 ヘルスケア関連ビッグデータの利活用（ヘルスケア周りのデータの概要、見方、活用における課題）	ヘルスケアデータを利活用するアプリには様々なものが存在する。規制的にはSaMD、non-SaMDの区分しかないが、ユースケースを細かく考えていくと、サービスとして提供かアプリとしての提供かといったビジネスモデルの視点も重要になってくる。 本講義では、上記の整理を行いつつ、アプリの医療機器該当性判断基準について解説する。特に、近年話題となった行動変容プログラムについては、データの取り扱い、ロジック構成上の留意点を、経済産業省が公表した医療機器プログラムに関する開発ガイドライン2023（手引き）を参考に詳説する。 ヘルスケア関連データには、医療情報・ライフログ等といった様々なものが存在するが、その収集プロセスや保管期間、標準化状況における差異から様々な課題が存在している。比較的認知されているのは、健診情報、レセプト情報、ウェアラブルデバイスからのライフログ情報等である。 本講義では、これらヘルスケア関連データを俯瞰しながら紐解き、データを読み解くための課題や限界について解説する。 併せて、PHRを巡る課題や最近の動きについても触れる予定である。	録画配信	(一社)電子情報技術産業協会 鹿妻 洋之
	実践・演習	Webアプリ作成研修 (Glide) Pythonプログラミング入門 ビッグデータ構築・解析・AI活用 (座学+演習)	コードを書かずにプログラミングをしていくノーコードについて講義と演習をいたします。今回使用する『Glide (グライド)』というノーコードツールはGoogleスプレッドシートをベースにwebアプリを作成できますので、ITに詳しくない方でも比較的簡単にお仕事でも使えるアプリを作る体験をして頂けるかと存じます。 デジタルヘルス 人材育成プログラム全体の中では、IT関連分野の教育プログラム、プログラミング演習になります。プログラミング言語として、インタープリタ型の高水準汎用プログラミング言語 Python を取り扱います。演習は6時間を目安に作成しています。内容はPythonのインストールから基本文法、モジュールとPIP, Numpyとmatprotlib, OpenCVを使った画像処理としてMediaPIPEを試し、最後に音声合成を行いコンピュータに喋らせませす。 多様で大量なデータに基づいて問題を解決するアプローチは社会実装において強力な方法論となりつつある。本講義では、ビッグデータによる付加価値の創出において、各種データに対して用いられる構築方法や解析方法などの技術的な内容を講述し、ビッグデータの構築と解析の演習を通して、ビッグデータを運用して様々な付加価値を創出するための技術的な内容を紹介する。	録画配信 録画配信 録画+LIVE配信 3月9日(土) 13:00-17:00	藤田 曜子 岡山大学 石原 信也 岡山大学 横平 徳美

# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」カリキュラム

プログラム分類	講義名	講義概要	講義形式	担当講師	
3 経営・起業に関する教育プログラム	起業基礎	アントレプレナーシップ	イノベーション創出への旅はあらゆる障壁を乗り越え様々な偶発的な展開を経て具現化される長い道のりです。こうした予測不能な環境下にてイノベーション創出を担う起業家が持つべきマインドセットについて修得します。熟達起業家の意思決定原理である「エフェクチュエーション」、芸術における思考を事業化に応用する「アートシンキング」を中心に、今必要とされる「起業家精神（アントレプレナーシップ）」について概説します。	録画配信	神戸大学 佐藤 正和
		起業・イノベーションの市場動向	日本のみならず世界的にスタートアップやイノベーションに対して巨額の投資マネーが流入しています。これだけ大きな期待が集まっている歴史的背景・経緯や現在のスタートアップ市場の概況などを解説します。又、今後の起業や新規事業立案の着想のヒントとなる成長市場の予測・展望、社会的ニーズの変化、太古から変化しない人間の根源的ニーズなどについても解説します。	録画配信	監査法人 トーマツ 松本 修平
	経営基礎	経営学基礎とビジネスモデル論	目的 経営学の概要をビジネスモデルの視点から学ぶ 内容 経営学はの学問ではなく「経営戦略」「マーケティング」「オペレーション」「会計・財務」「組織・リーダーシップ」など専門分野の束に過ぎません。この講義ではそれらの基礎をバラバラに学ぶのではなく、「ビジネスモデル」の視点で再構築し、4つの要素（ターゲット、バリュー、ケイパビリティ、収益モデル）毎に学んでいきます。多くの事例や演習がありますのでお楽しみに。 教科書 『新しい経営学』 事前課題 教科書をざっと読んでおく	LIVE配信 1月9日（火） 18 300	KIT虎ノ門 大学院 30 三谷 宏治
		経営・事業戦略の概要	目的 経営戦略論の概要を歴史的発展とともに学ぶ 内容 戦略には数千年の歴史がありますが、経営戦略論にはたった百数十年の歴史しかありません。テイラー、メイヨー、フェイヨルが「経営」という概念を作り、バーナードが組織共通の目的を「経営戦略」と名付けました。以来100年。さまざまな経営戦略論が生まれ廃れていきました。この講義では最新の経営戦略論に至るまでをカバーしていますが、なぜ、なんのためにそれらが生まれたのかを理解することで、経営戦略論の現実への応用が可能になります。教科書 『経営戦略全史』（マンガ版でも可） 事前課題 教科書をざっと読んでおく	LIVE配信 1月23日（火） 18:30-20 30	KIT虎ノ門 大学院 30 三谷 宏治

# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」カリキュラム

プログラム分類	講義名	講義概要	講義形式	担当講師	
3 経営・起業に関する教育プログラム	経営基礎	ビジネスモデルの視点に基づく事業戦略ケーススタディ	<p>目的:実際のビジネス事例をこれまでの学びを用いて分析・理解する                      内容:この講義ではフィットネス業界の諸企業と、小児科クリニックを題材に、実際に調べ、情報を整理し、それらのビジネスモデルを解明していきます。当日、各自がネット検索など情報収集を行い、それを元にチームディスカッションをします。そこでどれだけそこまでの学び(経営学・経営戦略論・ビジネスモデルなど)を使えるかがチャレンジです。                      教科書 『ビジネスモデル全史』(マンガ版でも可)                      事前課題 教科書をざっと読んでおくこと。                      カーブスとCAPS CLINICのHPを見ておくこと。</p>	LIVE配信 2月6日(火) 18:30-20:30	KIT虎ノ門 大学院 三谷 宏治
		ヘルスケア分野の事業化戦略	<p>国の戦略分野でありながら事業化が難しいとされるヘルスケア分野(保険外の医療・介護ビジネス)。公的保険の存在や顧客の行動変容の難しさ等が事業化のハードルになっています。そうしたハードルを踏まえ、どのようにビジネスモデルを構築すべきなのか、事例を参考にして学びます。</p>	LIVE配信 2月13日(火) 18:30-20:30	岡山大学 志水 武史
		経営分析・戦略策定ツールの使い方	<p>経営分析や経営戦略策定の際に有効な各種ツール、フレームワークの活用方法を実践的に学びます。特にオープンイノベーションをはじめとする近年のイノベーション・経営戦略に重点を置きます。</p>	LIVE配信 2月27日(火) 18:30-20:30	岡山大学 志水 武史
		ヘルスケア・マーケティング	<p>ヘルスケアに係る商材開発や市場創造、顧客獲得や販路開拓に向けたマーケティングの理論とその手法について解説する。項目として、その導入に 分析アプローチ(インサイト探索)と非分析アプローチ(アイデア発想)、それをもとに 商材価値の最大化・差別化のためのブランディング戦略と広告プロモーション、 社会における課題化・話題化のためのイシューイング戦略とPRキャンペーン、 顧客に向けた価値の個別化・最適化のためのターゲティング戦略とアルゴリズム化、等について解説。</p>	録画配信	(株)ヘルスケア・ビジネスナレッジ 西根 英一
		企業財務 (資金調達、資本政策、会計)	<p>ビジネスを推進する上で、資金調達は重要な要素です。金融機関からの借り入れや外部投資家からの出資の違いなど、会社の規模の違いに分けて解説します。今までスタートアップ支援で培った実務経験を基に、経営支配権の考え方や資本政策実行における各手段の説明のみならず、資本政策策定時の留意点や資金調達を行う際の注意すべき点なども説明する予定です。また、資本政策を考える上で最低限押さえておきたい税務面の留意点も解説します。</p>	LIVE配信 12月11日(月) 18:00-19:00	EY新日本有限 責任監査法人 大野 大



# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」カリキュラム

プログラム分類	講義名	講義概要	講義形式	担当講師
3 経営・起業に関する 教育プログラム	経営基礎  企業組織 (人事、チームビルディング)	デジタルヘルスの新規事業においては、ヘルスケア、ITという全く異なる分野の人材が必要になってくる。事業を立ち上げ、推進していく中で、そうしたバックボーン文化が異なるメンバーでのチーム構築をどうしているか、チームをまとめる人材はどのような知見、能力、スキルが必要なのか、その必要性等、実例を交えながら、デジタルヘルス領域の新規事業立ち上げに関心のある皆様に、ヘルスケア、IT、経営の各分野の人材におけるチームビルディングについて理解を深めデジタルヘルス起業に役立てていただく。	録画配信	(株)Yuimedi グライムス 英美里
4 実践的プログラム	課題抽出演習  ヘルスケア・生活関連分野における課題抽出演習	ヘルスケアビジネス創出には、ヘルスケア・生活関連分野における課題の深掘りが重要です。認知症やフレイル、生活習慣病の予防等、国や自治体が提示するマクロ的な課題を解決できるビジネスアイデアであっても事業化が難しい面もあります。ニッチだが当事者にとって切実な課題を深掘りすることが事業化の重要なポイントになります。課題の深掘りをロジカル思考やデザイン思考等を用いてグループワーク形式で実践的にを行います。	対面・オンライン併用 2月17日(土) 13 306 30	岡山大学 志水 武史
	事業アイデア創出演習  ヘルスケア・生活関連分野における事業アイデア創出演習	イノベティブな事業アイデアを創出するには、これまで考えたことのない異なる要素の組み合わせが重要です。また、組み合わせの要素・ナレッジを幅広く探索することも必要です。多様なバックグラウンドを有する受講者同士のワークショップを通じて、多種多様なデジタルヘルス分野の事業アイデアを創出します。	対面・オンライン併用 2月18日(日) 9 002 00	岡山大学 志水 武史

# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」担当講師プロフィール

講師（50音順、敬称略）	略歴	担当講義名
<p>氏名 石原信也（いしはらのぶや） 所属 岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 役職等 助教（特任）</p> 	<p>岡山大学自然科学研究系「特任助教」の石原信也です。本校の寄付講座「おかもとIoT・AI・セキュリティ講座」略してoiasのPBL演習を担当しています。情報処理教育、特にJavaやPythonといったオブジェクト指向言語や、画像処理・音声処理などのマルチメディア教育に携わっています。（本人は 画像情報教育振興協会(CG-ARTS協会)公認の認定インストラクターでもある。）最近IoT機器としてラズパイを使用した電子工作や、同シングルボードコンピュータでAIの成果を動作させ体験（場合によってはやはりシングルボードコンピュータでは力不足と実感）できる教材を作るのに精を出しています。本講座ではPythonプログラミング入門を担当します。</p>	<p>n Pythonプログラミング入門</p>
<p>氏名 市原英基（いちはらえいき） 所属 岡山大学病院 呼吸器・アレルギー内科 役職等 講師</p> 	<p>約20年間 呼吸器内科医として診療を行っておりますが、その間、画像診断、救急診療、肺がん診療、緩和ケア、COVID-19診療など様々な分野に取り組んできました。急速に拡大する医学知識になんとか遅れをとらないように日々悪戦苦闘しております。</p>	<p>n 呼吸器内科概論</p>
<p>氏名 大野大（おののだい） 所属 EY新日本有限責任監査法人 企業成長サポートセンター 役職等 デレクター</p> 	<p>国内証券会社公開引受部に配属され、その後米国証券会社東京支店投資銀行部門立ち上げに参画し、機関投資家から未上場企業への出資のアレンジ、M&amp;AのFA、ロードショー、ブロックトレーディングを行い、その後、中央青山監査法人（当時）株式公開部に入所し、2007年に新日本監査法人入所。IPO業務を一貫して行い、IPO後の機関投資家向けのビジネスを行った経験から、IPO後の株主作りを考慮に入れた資本政策の助言を行う。</p>	<p>n 企業財務</p>
<p>氏名 笠原真悟（かさはらしんご） 所属 岡山大学学術研究院 医歯薬学域 役職等 教授</p> 	<p>平成元年に大学卒業以来、心臓血管外科、特に先天性心疾患の手術治療を中心に行っております。オーストラリア、ニュージーランドで外科医として約5年間勤務後、助教、講師を経て、2013年に心臓血管外科の寄附講座である高齢社会医療、介護機器推進講座の教授となりました。この在任期間中に生体モニタリング機器としてマットセンサー、リアルタイム心電図の開発を行い、遠隔医療、在宅医療に携わりました。2017年に心臓血管外科主任教授となり、現在に至っております。現在でも心臓血管外科関連の評議員、理事として学会に尽力している傍ら、遠隔医療学会の理事として2024年に全国大会の会長に推薦されました。</p>	<p>n 心臓血管外科概論</p>

# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」担当講師プロフィール

講師（50音順、敬称略）	略歴	担当講義名
<p>氏名 鹿妻洋之（かづまひろゆき）            所属 ㈱電子情報技術産業協会</p>	<p>1994年オムロンライフサイエンス研究所入社、技術開発部門、米国駐在を経て、2000年頃より新事業開発、事業企画、渉外活動等に従事。2016年より現職。ヘルスケアデータ活用、デジタルヘルス、SaMD・ヘルスソフトウェア等の分野を中心に業界団体でのとりまとめや公的会議体委員として活動中。            経済産業省 健康・医療新産業協議会新事業推進WG委員、            厚生労働省 健診等情報利活用WG民間利活用作業班委員、            内閣府 次世代医療基盤法検討WG委員            厚生労働省 第4期特定健診・特定保健指導の見直しに関する検討会システム改修WG委員</p> <p>上記以外にも、産業技術総合研究所、特許庁、東京都等の調査研究事業に参画            日本医療機器産業連合会 医療ICT推進WG主査、            電子情報技術産業協会 ヘルスケアIT研究会主査            保健医療福祉情報システム工業会 健康支援システム委員会委員長</p>	<p>ヘルスケアデータ利活用アプリ・機器等の開発・提供における留意点            ヘルスケア関連ビッグデータの利活用</p>
<p>氏名 片岡祐子（かたおかゆうこ）            所属 岡山大学病院            役職等 准教授</p> 	<p>1998年3月 岡山大学医学部医学科 卒業            1998年4月 岡山大学医学部 耳鼻咽喉科学教室入局            2002年12月～岡山大学病院 耳鼻咽喉科勤務            2017年4月～同院 講師            2022年9月～聴覚支援センター 准教授 センター長補佐            岡山大学ユネスコチェア 副チェア、岡山大学ダイバーシティ推進本部 副室長            岡山大学病院ダイバーシティ推進センター 副センター長            専門医 耳鼻咽喉科専門医、耳鼻咽 喉科専門研修指導医、臨床遺 伝専門医、耳科手術暫定指導医。</p> <p>日本小児耳鼻咽喉科学会理事 日本耳科学会 ダイバーシティ推進委員会委員長日本耳鼻咽喉科学会 会報編集委員</p> <p>モットーは、「医療には限界があり、それを補うのが療育・教育、支えるのが福祉、開発。医療者として医療と療・教育、福祉、開発を繋ぐことを目標に、情報を発信していくこと」。</p> <p>令和4-6年、AMED「聴覚障害者の災害時・緊急時における緊急通知音振動変換装置および情報共有システムの有用性の検討」に採択され現在開発進行中。</p>	<p>n 耳鼻咽喉科概論</p>
<p>氏名 加藤浩晃（かとうひろあき）            所属 一般社団法人日本医療ベンチャー協会            役職等 理事</p> 	<p>医師、MBA。専門は医療DX、デジタルヘルス。眼科専門医として1500件以上の手術を執刀、手術器具や遠隔医療サービスを開発。その後、厚生労働省で医療制度改革に取り組む。ヘルスケアビジネスに必要な「医療現場」「医療制度」「ビジネス」の3領域を横断的に理解する数少ない存在で、事業相談は5年で500件以上。厚生省医療ベンチャー支援（MEDISO）アドバイザー、経産省Healthcare Innovation Hub アドバイザーなど。著書は『医療4.0』など共著合わせ40冊以上。</p>	<p>n デジタルヘルス産業・市場の概況</p>



# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」担当講師プロフィール

講師（50音順、敬称略）	略歴	担当講義名
<p>氏名 上岡寛（かみおかひろし）            所属 岡山大学学術研究院            医歯薬学域            役職等 教授</p> 	<p>1989年 3月 徳島大学歯学部卒業            1993年 3月 徳島大学大学院歯学研究科歯科矯正学専攻博士課程修了            1993年 4月 徳島大学歯学部助手            1995年 9月 米国インディアナ大学医学部ポスドク(1998年2月まで)            1999年 1月 岡山大学歯学部附属病院助手            1999年 4月 岡山大学歯学部附属病院講師            2006年 3月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科助教授(のち准教授)            2014年 2月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授            2015年 5月 岡山大学病院口唇裂・口蓋裂総合治療センター長            2021年 4月 岡山大学病院 教育・研究(歯科)副病院長            2023年 4月 岡山大学病院 教育(歯科)副病院長</p>	<p>n 臨床歯学概論</p>
<p>氏名 亀川哲志（かめがわてつし）            所属 岡山大学学術研究院            ヘルスシステム統合科学学域            役職等 准教授</p> 	<p>2004年東京工業大学大学院総合理工学研究科博士課程修了。同年、NPO国際レスキューシステム研究機構研究員を経て、2006年より岡山大学大学院自然科学研究科助手、2007年同助教、2008年同講師、2020年より岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科准教授となり、現在に至る。この間、2004年ローマ大学客員研究員、2012年カーネギーメロン大学客員研究員。ヘビ型ロボット、レスキューロボット、医療ロボットの研究開発に従事。日本ロボット学会、日本機械学会、計測自動制御学会、日本コンピューター外科学会の会員。博士(工学)。</p>	<p>n IoT機器構築例</p>
<p>氏名 川上佳夫（かわかみよしお）            所属 岡山大学学術研究院            医歯薬学域            役職等 講師</p> 	<p>1997年に旭川医科大学を卒業し、福島県立医科大学で10年間皮膚科医の臨床を幅広く学びました。その後ミュンヘン大学で1年6か月間、皮膚の自然免疫を学んでから、岡山市立市民病院、倉敷成人病センターで皮膚科医として働きました。2022年4月から岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 皮膚科学分野で乾癬や炎症性皮膚疾患の臨床・研究を行っています。</p>	<p>皮膚科概論</p>

# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」担当講師プロフィール

講師（50音順、敬称略）	略歴	担当講義名
<p>氏名 河原祥朗（かわはらしろう）            所属 岡山大学学術研究院            医歯薬学域            役職等 教授</p> 	<p>平成 2年 4月 岡山大学医学部附属病院第一内科入局            平成 2年 10月 福山市民病院内科            平成 4年 10月 津山中央病院内科            平成 6年 10月 岡山大学医学部附属病院消化器肝臓内科医員            平成 7年 10月 岡山大学医学部研究生（消化器肝臓内科講座・分野）            平成 11年 2月 岡山大学医学部附属病院本島分室助教            平成 11年 8月 津山中央病院消化器科、内視鏡センター            平成 17年 10月 岡山大学病院助教（光学医療診療部）            平成 23年 1月 岡山大学病院講師（光学医療診療部）            平成 29年 4月 岡山大学病院准教授（光学医療診療部）            平成 31年 4月 岡山大学 教授（実践地域内視鏡学講座）</p>	<p>消化器内科概論</p>
<p>氏名 北山貴裕（きたやまたかひろ）            所属 岡山大学病院            役職等 助教（特任）</p>	<p>岡山大学病院放射線科助教の北山貴裕です。普段は放射線科診断専門医として広く画像診断に関する診療や研究に取り組んでいます。本講座では放射線科概論として、放射線医学の歴史や各種検査の概要について解説します。また各論では画像診断・放射線治療・IVR（Interventional Radiology；放射線カテーテル治療）の三部門について、具体例を挙げつつ紹介します。また放射線科では画像診断領域を中心にDeep Learningを活用した診療が行われており、その臨床応用についても解説します。</p>	<p>放射線科概論</p>
<p>氏名 クAIMス英美里            （くらいむす えみり）            所属 株)Yuimedi            役職等 CEO</p> 	<p>京都大学薬学部卒業。薬剤師免許取得後、武田薬品株式会社にて臨床開発に従事。産官学を通じた日本の医療システムの改善に興味を持ち、スイスチューリヒ工科大学で医学産業薬学のマスターを取得。その後、マッキンゼーアンドカンパニーにて、コンサルタントとして経営的視点を学ぶ。医療×データに関するデジタルソリューションを開発するため、2020年11月に株式会社Yuimediを創業。</p>	<p>n ヘルスケア分野における法規制の概要 企業組織</p>
<p>氏名 小塩篤史（こおあつし）            所属 麗澤大学            役職等：            EdTech研究センター            センター長 / 教授</p> 	<p>専門領域は、データサイエンス、人工知能、システム開発、医療情報学等で、医療領域でのIT導入、AI開発に長年携わる。日本医科大学医療管理学教室助教、事業構想大学院大学教授・研究科長等を経て、現在は、麗澤大学 EdTech研究センター センター長 / 教授、東京大学大学院情報学環・学際情報学府 特任准教授として、医療・教育領域でのAI開発に取り組んでいる。また、株式会社Four H代表取締役として、デジタル治療薬や医療AIの開発、株式会社HYPER CUBE取締役として、高齢者の認知症・フレイル対策のためのAIアバターの開発などを行っている。</p>	<p>ヘルスケア分野における AI活用</p>

# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」担当講師プロフィール

講師（50音順、敬称略）	略歴	担当講義名
<p>氏名 小林勝弘（こばやしかつひろ）                      所属 岡山大学学術研究院                      医歯薬学域                      役職等 教授</p> 	<p>発達神経病態学は小児医科学分野に属し、小児科領域の脳神経疾患を専門としており、診療科としては小児神経科を構成しています。私は平成27年12月からこの教室をあずかり、小児てんかん特にその脳波分析を専門としています。小児てんかんは自然終息性の比較的良性なタイプと極めて難治なタイプの両極端に分かれ、慢性疾患であり、その診療には長期間を要し、発達障害や神経学的障害を合併することも多いため、医療的にも社会的にも重要です。</p>	<p>n 小児神経科概論</p>
<p>氏名 五福明夫（ごいふあきお）                      所属 岡山県立大学                      役職等 理事（副学長）</p> 	<p>1981年3年京都大学工学部電気工学第二学科卒業。                      1983年3月京都大学大学院工学研究科電気工学第二専攻博士前期課程修了                      1984年4月京都大学原子エネルギー研究所助手。                      1994年12月岡山大学工学部機械工学科助教授。                      その後、システム工学科助教授、教授、大学院自然科学研究科教授、ヘルスシステム統合科学研究科教授を経て、2023年3月岡山大学を定年退職。                      現在、岡山県立大学理事（副学長）、岡山大学名誉教授、特命教授（研究）。                      ヒューマンマシンインタフェース、メカトロニクスを主要な専門分野としている。                      現在、機能モデリングと人工知能を応用した大規模工業プラントの運転員支援システム、および、電磁型の球面モータとその出力トルク増大のための球面減速機の研究に携わっている。</p>	<p>n ヒューマン                      インタフェース基礎                       n ビッグデータ構築・                      解析・AI活用</p>
<p>氏名 堺健司（さかいけんじ）                      所属 同志社大学                      役職等 准教授</p> 	<p>2010年3月、同志社大学大学院博士後期課程修了。博士（工学）。2009年4月～2010年8月、日本学術振興会特別研究員。2010年9月、岡山大学大学院自然科学研究科 助教。岡山大学学術研究院ヘルスシステム統合科学学域准教授。現在は、同志社大学理工学部電子工学科 准教授。これまでに磁性材料の開発、計測システムの開発に関する研究に従事。現在は磁気による高度非破壊検査技術の開発や超高感度磁気センサを用いた計測システムの開発と物性評価への応用、磁気ナノ粒子を用いた免疫検査法に関する研究に従事。</p>	<p>n センシング                      工学の基礎</p>
<p>氏名 佐藤正和（さとうまさかず）                      所属 神戸大学Vスクール                      役職等 客員教授</p> 	<p>学生起業を皮切りに様々な役職で大小20の創業・事業開発とそれらに伴う売却・株式公開の経験を持つ。近年では最高級日本茶を扱うブランド 北川半兵衛(宇治茶流通トップシェア企業とのJV)や、ヘルスケア系ベンチャー(介護・鍼灸整骨院業界。現東証一部)などがある。また、このほかにも、100年以上続く京都の辻利グループといった長寿企業(ファミリービジネス)から設立後数年の上場準備企業(スタートアップ)まで幅広いジャンルの企業にてブランド顧問、戦略顧問、社外役員などを務める。</p>	<p>n アントレプレナー                      シップ</p>

# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」担当講師プロフィール

講師（50音順、敬称略）	略歴	担当講義名
<p>氏名 座間味義人（さみやよしと）                      所属 岡山大学病院                      役職等 教授</p> 	<p>2003年 岡山大学薬学部総合薬学科 卒業                      2003年～ 岡山大学大学院薬学研究科 修士課程                      2005年～ 岡山大学大学院薬学研究科 博士課程                      2008年～ 岡山大学薬学部 博士研究員                      2009年～ 岡山大学 医歯薬学総合研究科 医薬分子設計学分野 助教                      2011年～ 岡山大学 医歯薬学総合研究科 救急薬学分野 助教                      2016年～ 徳島大学病院 薬剤部 講師                      2018年～ 徳島大学病院 薬剤部 准教授・副薬剤部長                      2021年～ 岡山大学病院 薬剤部 教授・薬剤部長</p>	<p>n 臨床薬学概論</p>
<p>氏名 志水武史（しみずたけし）                      所属 岡山大学学術研究院                      ヘルスシステム統合科学学域                      役職等 准教授（特任）</p> 	<p>生命保険協会、外資系保険会社勤務等を経て、1999年から（株）日本総合研究所勤務（2004 5年に伊藤忠商事出向）を経て2019年2月より現職。日本総合研究所在籍中は、経済産業省のヘルスケア関連ビジネス事業化支援事業に長年関与。現在に至るまで企業や自治体等におけるヘルスケアビジネス創出の取り組みを支援。専門分野はイノベーション、経営戦略、ヘルスケアビジネス、地域活性化。岡山大学ではアントレプレナー関連講義を担当するほか、オープンイノベーション・プラットフォームである「岡山リビングラボ」を企画運営。様々なステークホルダーの連繋の下、ヘルスケアビジネスの創出に向けた取り組みを行っている。</p>	<p>n オリエンテーション                      n 経営分析・戦略策定ツールの使い方                      n ヘルスケア分野の事業化戦略                      n ヘルスケア・生活関連分野における課題抽出演習                      n ヘルスケア・生活関連分野における事業アイデア創出演習</p>
<p>氏名 高木学（たかきまなぶ）                      所属 岡山大学学術研究院                      医歯薬学域                      役職等 教授</p> 	<p>はじめまして。岡山大学精神神経病態学教室の高木学と申します。私は平成8年に岡山大学を卒業し、本年10月より教授を務めさせていただいております。米国ジョンスホプキンス大学精神科にて統合失調症の基礎研究を、岡山大学では映画「8年越しの花嫁」で知られる自己免疫性脳炎の臨床、基礎研究を核として精神科全般の診療を続けております。加えて13か所にて勤務した豊富な経験と人脈が私の宝と申します。デジタルは苦手分野でございますが、新分野に挑戦する意味で講義を担当させていただくことにいたしました。よろしくお願いいたします。</p>	<p>n 精神科概論</p>

# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」担当講師プロフィール

講師（50音順、敬称略）	略歴	担当講義名
<p>氏名 田中真（たなかしん） 所属 岡山大学病院 臓器移植医療センター 役職等 助教</p> 	<p>2010年3月 岡山大学医学部医学科 卒業 2010年4月 岡山大学病院 初期臨床研修医 2011年4月 三豊総合病院 初期臨床研修医 2012年4月 三豊総合病院 外科後期レジデント 2013年4月 四国がんセンター 外科後期レジデント 2015年4月 岡山大学病院 呼吸器外科 医員 2018年9月 Puerta De Hierro大学病院（スペイン） 肺移植科/呼吸器外科へ肺移植フェローとして臨床留学 2021年2月 岡山大学病院 呼吸器外科 医員 2021年4月 岡山大学病院臓器移植医療センター 助教（現職）</p>	<p>n 呼吸器外科概論</p>
<p>氏名 塚原宏一（つかはらこういち） 所属 岡山大学学術研究院 医歯薬学域 役職等 教授</p> 	<p>岡山大学小児科は設立以来約140年となり、東京大学小児科について2番目に古い歴史と伝統があります。当小児科は中国四国地域の基幹小児科として、この地域の小児医療を支えてきました。そして、わが国をリードする多くの医師、研究者、教育者を輩出してきました。</p> <p>当院において、2012年には先進的で総合的な小児医療を目指して日本で最大規模の「小児医療センター」が、2022年には高度救命救急と集中治療の中核として「小児救命救急センター」が設置されました。このように、私たちは、内科系、外科系にとどまらずこころの診療まで、中国四国地域の「小児医療の最後の砦」として最適な高度先進医療を提供しています。</p>	<p>n 小児科概論</p>
<p>氏名 辻憲二（つげんじ） 所属 岡山大学学術研究院 医歯薬学域 役職等 助教</p> 	<p>2006年に岡山大学医学部医学科を卒業後、愛媛県立中央病院で研修を行い、腎臓内科医となりました。岡山大学腎・免疫・内分泌代謝内科学で学位を取得後、米国ボストンのマサチューセッツ総合病院のDr. Jenny Luのもとに3年間研究留学し、帰国後は岡山大学で腎臓内科医として臨床と研究、医学部生・大学院生の教育を行っています。研究は腎臓の再生に関する病態解明をテーマにしており、本研究を通じて腎臓病に対する新たな再生治療開発に貢献したいと考えています。</p>	<p>腎臓内科概論</p>

# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」担当講師プロフィール

講師（50音順、敬称略）	略歴	担当講義名
<p>氏名 寺石文則（ていしふみのり）            所属 岡山大学病院            消化器外科・低侵襲治療センター            役職等 講師</p> 	<p>2017年4月より岡山大学病院消化管外科で臨床、研究、教育に注力してきました。診療は大腸がんを中心に下部消化管疾患を担当しており、特に難易度の高い直腸がんに対する腹腔鏡ならびにロボット手術を執刀してきました。</p> <p>免許・資格 1997年 医師免許            2007年12月 日本外科学会専門医            2010年1月 日本消化器外科学会専門医            2011年10月 日本大腸肛門病学会専門医            2020年1月 日本内視鏡外科学会技術認定取得医            2022年10月 日本内視鏡外科学会ロボット支援手術プロクター</p>	<p>n 消化器外科概論</p>
<p>氏名 土井桃子（どいももこ）            所属 株式会社イナビ            メディカル事業本部            西日本企画広報部            役職 部長</p> 	<p>2014年に株式会社マイナビに入社し、近畿エリアの医療系学校の就職支援を担当。医療系学生向けに就職支援や実習対策などのキャリア、スキルアップの支援講座を多数実施。</p> <p>2019年からは東海・近畿・中四国・九州の4拠点の統括として学生向け、学校向けに広報活動を実施。</p> <p>学生が進路選択をする上で、できるだけ多くの「選択肢」や「行動」の機会を提供し、最適なマッチングができるよう情報サービスの提供や就職支援を行っております。</p>	<p>n 医療・介護関連国家資格人材の概要</p>
<p>氏名 中尾博之（なかおひろゆき）            所属 大阪行岡医療大学            役職等 教授（特任）            所属 岡山大学            学術研究院医歯薬学域            役職等 客員研究員</p> 	<p>香川医科大学医学部医学科卒業し、日本救急医学会専門医・指導医資格を有し、同学会評議員を務めています。2001 明石市夏祭り事故対応を皮切りに国内外の災害医療対応を行ってまいりました。それ以降、災害医療、救急医療に携わり、現場から派生した疑問を研究に投影してきました。災害・救急医学領域とITとの融合として、電子トリアージタグ、電子瞳孔計測器を開発し特許を修得しています。また、厚生労働科学研究費補助金にて、地域一体型のBCPの構築システムのIT化開発を行っています。</p>	<p>n 救急医学概論</p>
<p>氏名 中原龍一（なかはら りゅういち）            所属 岡山大学病院            役職等 助教</p> 	<p>岡山大学医学部卒業。救急医として5年間務めたのち整形外科医として、関節リウマチや外傷などの診療を行っています。MRIや超音波などの画像研究、マクロ解剖学などの研究を行っており、AI技術を用いた画像研究や電子カルテデータの言語解析の研究なども行っています。</p>	<p>n 整形外科概論</p>

# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」担当講師プロフィール

講師（50音順、敬称略）	略歴	担当講義名
<p>氏名 中村一文（なかむらかずふみ）                      所属 岡山大学学術研究院                      医歯薬学域                      役職等 准教授</p> 	<p>平成 5年 岡山大学医学部医学科 卒業                      平成10年 岡山大学大学院医学研究科 修了                      循環器疾患全般と心不全診療を専門に行っております                      スマホアプリの歩数測定を活用して、毎日の運動量を管理・維持しております</p>	<p>循環器内科概論</p>
<p>氏名 西根英一（にしねえいいち）                      所属 株)ヘルスケア・ビジネスナレッジ                      役職等 代表取締役社長</p> 	<p>ヘルスケアに係るマーケティング戦略とコミュニケーション設計の専門家として、ビジネスとパブリックとアカデミアの3領域で指揮をとる。大塚グループ、電通グループ、マクキャン・ワールドグループ（CKO最高知識責任者とグループ顧問）を経て、現在、株式会社ヘルスケア・ビジネスナレッジ 代表取締役社長、事業構想大学院大学 特任教授、千葉商科大学 特命教授、北海道科学大学薬学部 教授（非常勤）、宣伝会議コピーライター養成講座上級コース 講師、一般社団法人日中健康寿命促進協会 日本代表理事、「健検」理事ほか。近著に『ヘルスケアビジネスの図本』シリーズ（<a href="https://healthcare.official.ec/">https://healthcare.official.ec/</a>）。</p>	<p>n ヘルスケア・マーケティング</p>
<p>氏名 萩谷英大（はぎやひではる）                      所属 岡山大学病院                      役職等 准教授</p> 	<p>2008年4月 - 2009年3月岡山大学病院医学部・歯学部附属病院 初期研修医                      2009年4月 - 2010年3月津山中央病院 初期研修医                      2010年4月 - 2013年3月津山中央病院 救命救急センター 常勤医師                      2013年4月 - 2015年3月岡山大学病院 総合内科                      2015年4月 - 2018年3月大阪大学医学部附属病院 感染制御部 助教                      2018年4月 - 2019年3月大阪大学医学部附属病院 老年・総合内科学 助教                      2019年4月 - 2023年3月岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 瀬戸内（まるがめ）総合診療 医学講座 准教授                      2023年4月 - 現在 岡山大学病院 感染症内科 准教授</p>	<p>n 総合内科概論</p>
<p>氏名 林行成（はやしゆきなり）                      所属 広島国際大学                      健康科学部医療経営学科                      役職等 教授</p> 	<p>広島国際大学健康科学部医療経営学科教授。鹿児島県鹿児島市出身。一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学。医療科学研究所研究員、一橋大学経済研究所客員研究員、岡山大学大学院ヘルスケアシステム統合科学研究科非常勤講師、広島大学客員教授、日本医療マネジメント学会評議員、日本医療経営学会評議員などを歴任。専門は、医療経済学。医療制度・政策、医薬品産業について、経済学的なアプローチから研究を進めている。主要著書は「医療経済学15講」（共著、新世社）など。</p>	<p>n 公的医療・介護保険制度の概要</p>

# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」担当講師プロフィール

講師（50音順、敬称略）	略歴	担当講義名
<p>氏名 原正彦（はらまさひこ） 所属 株)mediVR 役職等 代表取締役社長</p> 	<p>2005年 島根大学卒業、循環器内科専門医。神戸赤十字病院、大阪労災病院で研修の後、大阪大学大学院医学系研究科で学位取得。査読英語論文 87編、米国心臓協会及び米国心臓病学会より若手研究員奨励賞を受賞、International Heart Journalより年間最優秀論文賞を受賞。臨床研究に関する著書が医学書ベストセラー。2016年大阪大学発ベンチャーとして株式会社mediVRを設立し2019年よりVRリハビリテーション医療機器、mediVRカグラの販売を開始。取得特許 16件。経済産業省主催ジャパンヘルスケアビジネスコンテスト最優秀賞受賞。2019年 島根大学地域包括ケア教育研究センター客員教授。</p>	<p>n ヘルスケアVR</p>
<p>氏名 平沢晃（ひらさわあきら） 所属 岡山大学学術研究院 医歯薬学域 役職等 教授</p> 	<p>1995年に慶應義塾大学医学部卒業、産婦人科研修医 2000年より 東京医科歯科大学難治疾患研究所遺伝疾患研究部門（分子細胞遺伝）で婦人科がんゲノム異常の研究に従事。 2004年 博士（医学）取得 国立病院機構東京医療センター産婦人科医員 2005年 慶應義塾大学医学部産婦人科 助教（助手） 2011年からフィンランド分子医学研究所に留学。フィンランドアカデミー上級研究員 2015年より慶應義塾大学医学部産婦人科専任講師 2018年6月より岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻腫瘍制御学講座（臨床遺伝子医療学分野）教授</p>	<p>n 臨床遺伝学概論</p>
<p>氏名 藤田曜子（ふじたようこ）</p> 	<p>岡山大学法学部卒。世界最大級のノーコードコミュニティ『NoCodeCamp』Glideエキスパート。著書に『基礎から学ぶノーコード開発』（C&amp;R研究所）がある。</p>	<p>n webアプリ作成研修（Glide）</p>



# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」担当講師プロフィール

講師（50音順、敬称略）	略歴	担当講義名
<p>氏名 松尾俊彦（まつしひこ）                      所属 岡山大学学術研究院                      ヘルスシステム統合科学学域                      役職等 教授</p> 	<p>岡山大学病院で眼科医として働いています。眼科臨床全般を担当していますが、大学病院では長年「ぶどう膜炎」「眼腫瘍」「小児眼科」を眼科の中の専門領域として診療しています。ヘルスシステム統合科学研究科は、工学系教員や人文社会系教員と話す機会が多く、刺激になると同時に勉強になります。幾つになっても自分が知らない領域について学べるのは楽しいものです。研究としては、医師主導治験を目指して光電変換色素薄膜型人工網膜（OUReP）の開発を工学部の内田哲也教授と行っています。網膜の神経保護薬の探索研究、斜視の遺伝解析や、鑑真和上が日本にもたらした漢方薬の調査なども行っています。なんだか統合科学らしい取組と思いませんか</p>	<p>n 眼科概論</p>
<p>氏名 松岡敬典                      （まつおか ひろふみ）                      所属 岡山大学病院                      役職等 助教</p> 	<p>はじめまして松岡敬典と申します。岡山大学病院産婦人科で勤務しています。2011年に医師になり、現在は大学病院で主に子宮がんや卵巣がんなどの婦人科悪性腫瘍の診療に従事しています。産婦人科ですので、通常の出産の立ち合いや帝王切開なども行っています。がんという生命を脅かす病気の診療や、出産時の母子の救命など幅広い診療内容を多くの職種で協力して行っています。女性のライフサイクルを、思春期からご高齢の方まで診療できることや、人の命が誕生する前から関わるができることにやりがいを感じています。</p>	<p>n 産婦人科概論</p>
<p>氏名 松本修平（まつもとしゅうへい）                      所属 有限責任監査法人トーマツ                      地域未来創造室</p> 	<p>1987年神戸出身。小学4年生より起業。中学卒業に伴い同年大検合格。高校進学せず個人投資家・起業家として活動し、大学卒業までに複数事業を創業。2011年ベネッセコーポレーション新卒入社。出版部門等にて新規事業を担当した後、複数社にて経営企画業務に従事。2018年有限責任監査法人トーマツ入社。アクセラレータプログラムリーダーやインキュベーションマネージャー等を歴任。並行して国内9大学で起業教育に従事し、2022年4月京都大学経営管理大学院博士後期課程入学。同年12月より慶應義塾大学特任助教に着任。イノベーション推進本部にて全学でのスタートアップ創出・支援を担当。</p>	<p>n 起業・イノベーション</p>
<p>氏名 松本洋（まつもとひろし）                      所属 岡山大学                      学術研究院医歯薬学域                      役職等 講師</p> 	<p>皆様はじめまして。私は学生時代に、主に外科的治療で形態の問題を改善することや、顕微鏡下で2mm前後の血管や神経をつなぎ組織移植をおこなうマイクロサージャリーに興味を抱き形成外科医を志しました。現在、岡山大学病院頭頸部がんセンターで口腔癌や咽頭癌など頭頸部癌の再建手術に従事しております。癌の切除によって失われた臓器を体の他部位から採取した組織を用いて再建することで、術後の患者の生活の質をいかに保つかということに注力し日々診療を行っております。</p>	<p>n 形成外科概論</p>

# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」担当講師プロフィール

講師（50音順、敬称略）	略歴	担当講義名
<p>氏名 丸山雄樹（まるやまゆうき） 所属 岡山大学病院 役職等 助教</p> 	<p>岡山県岡山市出身。平成26年に岡山大学医学部卒業後、岡山赤十字病院での初期研修修了後、平成28年より岡山大学泌尿器病態学講座に入局しました。同学医歯薬学総合研究科博士課程では、多光子レーザー顕微鏡を用いた腎虚血再灌流時の生体マウス腎における好中球in vivoリアルタイムイメージングの研究にて博士号を取得しております。排尿障害・尿路感染症・尿管結石・悪性腫瘍・性機能・ジェンダー・腎移植と多岐にわたる泌尿器科疾患に携わりながら、臨床および研究を行っています。講義を通して、泌尿器科に関して理解を深めていただくと共に、当科での研究を紹介できればと考えています。</p>	<p>n 泌尿器科概論</p>
<p>氏名 三谷宏治（みたにこうじ） 所属 K虎ノ門大学院 役職等 教授</p> 	<p>1964年大阪生れ、福井で育つ。東京大学 理学部物理学科卒業後、BCG、アクセンチュアで19年半、経営戦略コンサルタントとして働く。92年 INSEAD MBA修了。2003年から06年 アクセンチュア 戦略グループ統括。2006年からは子ども・親・教員向けの教育活動に注力。現在は大学教授、著述家、講義・講演者として全国をとびまわる。KIT 教授の他、早稲田大学ビジネススクール・女子栄養大学 客員教授、放課後NPO アフタースクール・NPO法人 3keys 理事、前田工織株式会社 社外取締役を務める。著書多数。『経営戦略全史』（2013）はビジネス書賞2冠を獲得。HPは <a href="http://www.mitani3.com">www.mitani3.com</a></p>	<p>n 経営学の基礎とビジネスモデル論 n 経営戦略論の概要 n 事業戦略ケーススタディ</p>
<p>氏名: 森松博史（もりまつ ひろし） 所属: 岡山大学 学術研究院医歯薬学域 役職等 教授</p> 	<p>1968年4月28日 愛媛県生まれ A型 1993年岡山大学医学部卒。医学博士。関連病院での研修を経て1999年より岡山大学病院勤務。2001年から約一年半オーストラリア、メルボルンのAustin病院で臨床研究を学ぶため留学。Prof. Bellomoに師事。留学中に13枚の英文論文執筆。帰国後2007年より岡山大学病院助教、2010年より講師、2013年より岡山大学医歯薬学総合研究科麻酔・蘇生学分野教授。専門は麻酔・集中治療。急性腎傷害、酸塩基平衡などの執筆が多い。趣味は映画鑑賞、カラオケ、ゲームなど。</p>	<p>n 麻酔・蘇生学概論</p>
<p>氏名 諸岡健一（もろおかけんいち） 所属 熊本大学 役職等 教授</p> 	<p>2000年 九州大学大学院 システム情報科学研究院 博士（工学）取得。2000年東京工業大学 大学院理工学研究科 助手、2006年九州大学 デジタルメディスン・イニシアティブ 准教授、 2010年九州大学 医学研究院およびシステム情報科学研究院 准教授を経て、 2020年4月より岡山大学 自然科学研究科（情報系学科）教授。 現在、熊本大学大学院先端科学研究部教授。この間、2016年 Illinois Institute of Technology, Visiting Researcher, 2019年 Imperial College London, Visiting Researcher。画像情報処理と人体モデルを用いた医療支援システムに関する研究に従事。</p>	<p>n 医用画像情報処理</p>

# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」担当講師プロフィール

講師（50音順、敬称略）	略歴	担当講義名
<p>氏名 安原隆雄（やすはらたかお） 所属 岡山大学学術研究院医歯薬学域 役職等 准教授</p> 	<p>1973年岡山生まれ 50歳 岡山大学卒 現職 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経外科 准教授 専門領域 脊椎脊髄、頭蓋底外科手術、再生医療 手術について思うこと 手術では単なる手先の器用さよりも、治療戦略・手術戦術を正しく考え、危機管理を行いながら安全確実に操作を行うことが重要です。手術を行う中で、こういう工夫が安全性を高めるとか、この処置を先に行うことで手術時間が短縮するということがありますが、機器開発・術式改良においても同じように、ちょっとした気づきが、大きな開発・発展につながるがあると思います。患者さんのためにベストの治療を行っていくために、多職種で連携していきたいと思っています。</p>	<p>脳神経外科概論</p>
<p>氏名 山下徹（やましたとある） 所属 岡山大学学術研究院医歯薬学域 役職等 准教授</p> 	<p>岡山大学脳神経内科学准教授の山下徹です。脳神経内科医として、認知症やパーキンソン病などの神経変性疾患、脳梗塞などの脳血管障害の診療ならび研究を行っています。現在、脳神経内科領域では、抗体療法や核酸医薬、幹細胞移植など新しい治療法の開発が急速に進んできており、これまで治療法がなかった病気の一部も治療可能になってきました。私自身も現在、筋萎縮性側索硬化症（ALS）に対する幹細胞治療の研究に取り組んでいます。新たな治療法を一日も早く患者さんに届けられるよう日々診療・研究を続けていきたいと思っています。</p>	<p>n 脳神経内科概論</p>
<p>氏名 横平徳美（よひらとくみ） 所属 岡山大学学術研究院 ヘルスシステム統合科学学域 役職等 教授</p> 	<p>1989年3月、博士論文「双安定特性を有する計算機・通信システムの性能評価に関する研究」により大阪大学博士課程を修了した。同年4月岡山大学工学部の助手となり、その後同学部の講師、助教授、教授を経て、現在、岡山大学ヘルスシステム統合科学研究科の教授をしている。2022年4月から同研究科の研究科長を務めている。コンピュータネットワークに関する研究を40年以上行ってきており、最近では、クラウドコンピューティング、エッジコンピューティング、耐故障ネットワークの研究に取り組んでいる。</p>	<p>n ビッグデータ構築・解析・AI活用 （座学+演習）</p>

# 岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」担当講師プロフィール

講師（50音順、敬称略）	略歴	担当講義名
<p>氏名 吉葉恭行（よばやすゆき）            所属 岡山大学学術研究院            ヘルスシステム統合科学学域            役職等 教授</p> 	<p>2004年3月東北大学大学院国際文化研究科修了（博士 国際文化）            東北大学電気通信研究所助手、東北大学百年史編纂室室員、秋田工業高等専門学校教授を経て現職、東北大学史料館協力研究員を兼任している。            専門は科学技術史で日本の科学と技術の歴史について広い視野で研究を進めてきた。近年は大学の歴史とヘルスケアに関わる技術の歴史について関心をもって研究を進めている。著書に『戦時下の帝国大学における研究体制の形成過程：科学技術動員と大学院特別研究生制度 東北帝国大学を事例として』東北大学出版会（2015・単著）、『古い - 人文学・ケアの現場・老年学』ポラーノ出版（2019・共編著）、『帝国大学における研究者の知的基盤：東北帝国大学を中心として』こぶし書房（2020・共編著）などがある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>n IT技術と関連産業の概要</li> </ul>
<p>氏名 米澤麻子（よねざわあさこ）            所属 株)NTTデータ経営研究所            役職等 ライフバリュークリエイションユニット            アソシエイトパートナー</p> 	<p>東京大学経済学部卒業。千葉大学大学院総合政策学科修了。大手生命保険会社においてヘルスケア領域の事業開発に携わる。NTTデータ経営研究所に入社後は、医療・保健・福祉分野のコンサルティング・調査に取り組む。専門は、ヘルスケアビジネス、社会保障。遠隔医療やPHRをはじめ、地域包括ケアやケアマネジメント、健康経営やメンタルヘルス、地域の健康増進や疾病予防等、ヘルスケア領域全般の調査・実証事業プロジェクトを長年実施している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>n 医療・介護関連産業の概要</li> <li>n 国・自治体・企業における健康関連施策の概要</li> </ul>
<p>氏名 渡邊豊彦（わたなべとよひこ）            所属 岡山大学学術研究院            ヘルスシステム統合科学学域            役職等 教授</p> 	<p>泌尿器科医。専門は排尿管理、尿路・性感染症、ロボット手術。尿路感染症や下部尿路機能の診療ガイドラインの作成委員を歴任。岡山大学泌尿器科准教授、診療科長を務め、管理職経験をもとに、組織の中の多様な人間の行動についての経営学研究も行っている。山陽新聞デジタル版にコラム「泌尿器科医の時節感当」を連載中（<a href="https://www.sanyonews.jp/special/column/hinyouki">https://www.sanyonews.jp/special/column/hinyouki</a>）。また、泌尿器疾患の啓発を目的にしたYouTubeチャンネル 岡山泌尿器科チャンネルを企画、管理している（<a href="https://www.youtube.com/watch?v=7tpQ1DHu6ew">https://www.youtube.com/watch?v=7tpQ1DHu6ew</a>）。県立姫路西高等学校、岡山大学医学部卒、医学博士、経営学博士。1967年姫路市生まれ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>n 医療機関・介護施設経営の概要</li> </ul>